

IDE 大学協会 近畿支部 令和 5 年度 IDE 大学セミナー
「大学教育における AI の協奏的利用の可能性を探る」

昨年 11 月末に OpenAI 社が ChatGPT のサービスを開始し、今年 2 月にマイクロソフト社が自社のネット検索サービス Bing を通じて ChatGPT 4.0 をベースにした Bing Chat の提供を始めると、国内でも連日のように生成 AI がインターネット上や各種メディアで取り上げられるようになりました。本年度前期、生成 AI の教育利用が試行的に進められた日本の大学や各教育機関や学校は少なくなく、多くは組織的な注意喚起の下、授業レベルで教員と学生による試行錯誤が行われたのではないかと考えられます。さらに、今年 7 月 13 日付で文部科学省高等教育局が発表し関係諸機関に通達した「大学・高専における生成 AI の教学面の取扱いについて」の中では、生成 AI に関して利活用が想定される場面例や留意すべき観点などが取りまとめられ、今後の状況変化を踏まえ、大学・高等専門学校等の教育機関が主体的に対応することの重要性が強調されています。

現在巻き起こっている生成 AI を巡る様々な動きや議論を通じて、私たちはこれからの高等教育の可能性や課題について何を学ぶことができるのでしょうか。本セミナーでは、生成 AI の現状と今後の発展の見通し、授業/学部プログラム・大学・大学協議会という 3 レベルにおける生成 AI を活用した教育実践やカリキュラムデザイン・ポリシー策定等に関する話題提供を踏まえ、生成 AI や ICT を巡る今後の大学教育の可能性や課題について探究し、議論を通じて理解を深めていきます。

日 時：令和 5 年 9 月 29 日（金） 13：30～17：30

会 場：キャンパスプラザ京都 2 階ホール（京都市下京区西洞院通塩小路下る東塩小路 939）
（Zoom ウェビナーによるハイブリッド開催）

対 象：どなたでもご参加いただけます。

プログラム：

・開会の挨拶

湊 長博（IDE 大学協会 近畿支部長・京都大学 総長）

・話題提供

司会 小山田 耕二（大阪成蹊大学 データサイエンス学部学科長・教授）

・「高等教育機関における生成 AI 利用のキーポイント」

深澤 良彰（早稲田大学 理工学術院 教授・大学 ICT 推進協議会前会長）

・「生成系 AI で試される大学英語教育の"寿命"— 立命館大学プロジェクト発信型英語プログラムの実践から —」

木村 修平（立命館大学 生命科学部 教授・教育学部 副部長＜言語教育改革・全学 DX 担当＞）

・「3 大学データサイエンスシンポジウムを終えて」

中村 佳正（大阪成蹊大学 学長）

・「大学教育の AI への向き合い — 私大連の取組み —」（仮題）

曄道 佳明（上智大学 学長・日本私立大学連盟副会長）

・全体討議

司会 高見 茂（京都光華女子大学 学長）

指定討論者 飯吉 透（京都大学 学術情報メディアセンター/大学院教育学研究科教授）

参加費：無料

定員：会場 90名、Zoom ウェビナー 300名（申込先着順）

※ 会場の参加希望者数が定員を超えた場合、Zoom ウェビナーによるオンライン参加をご案内させていただくことがあります。

参加申込方法：要事前申し込み

- ・ 氏名、所属名、職名、連絡先（電話番号、E-mail アドレス）、参加形態（会場参加または Zoom ウェビナーによるオンライン参加）を明記し、電子メール、Web または FAX にて、以下の参加申込先までお申し込みください。
- ・ 申し込みいただいた方には、後日、電子メールにて Zoom 接続 URL をご案内します。

参加申込先・連絡先：

京都大学渉外部広報課気付 IDE 大学協会近畿支部事務局

〒606-8501 京都市左京区吉田本町

TEL／（075）753-2070 FAX／（075）753-2094

E-mail／ide_seminar@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

Web 申込 URL／ <https://forms.gle/KcEaqzYmijEEeGzw5>

（または右の QR コードからアクセス願います。）



参加申込締切：令和 5 年 9 月 2 8 日（木） ※定員に達し次第、受付を終了します。

主催：IDE 大学協会近畿支部